

本省（総合政策局公共事業企画調整課、大臣官房公共事業調査室）
同時記者発表



インフラメンテナンス国民会議

令和4年4月22日（金）
国土交通省 関東地方整備局
企画部

「インフラメンテナンス市区町村長会議」設立式典を開催
～トップダウンによるメンテナンス施策の更なる推進～

「インフラメンテナンス国民会議」（以下、「国民会議」という。）は、産学官民がー丸となってインフラメンテナンスに取り組むプラットフォームです。

このたび、国民会議では、インフラメンテナンスに高い関心を有する市区町村長で構成する「インフラメンテナンス市区町村長会議」（以下、「市区町村長会議」という。）を設立し、4月28日に設立式典を開催します。

国民会議では「地方自治体への支援」を重要な目的のひとつとして活動しており、地方自治体における効率的・効果的なインフラメンテナンスの推進を後押しする目的で市区町村長会議を立ち上げます。 **別紙1**参照

市区町村長会議を通じて、トップダウンによるメンテナンス施策の更なる推進が図られることが期待されます。

■「インフラメンテナンス市区町村長会議」設立式典 **別紙2**参照

1. 日時 令和4年4月28日（木） 13時30分～15時00分
2. 場所 全電通労働会館（東京都千代田区神田駿河台3-6）
※オンライン配信併用
3. 次第 式辞、設立宣言、来賓祝辞、各ブロックからの発表、講話 他
4. 取材について
 - ・取材を希望される方は、**別紙3**により、4月26日（火）12時までに事前申し込みが必要です。
（申込先）国民会議事務局：hqt-jcim-sogo@gxb.mlit.go.jp
 - ・会場の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます。
取材の可否は4月27日（水）中にメールでお知らせします。
 - ・会場で取材される方は、当日は12時30分から13時15分までの間に受付を済ませてください。（オンライン傍聴の方は申し込み後にURLをお知らせします。）

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ

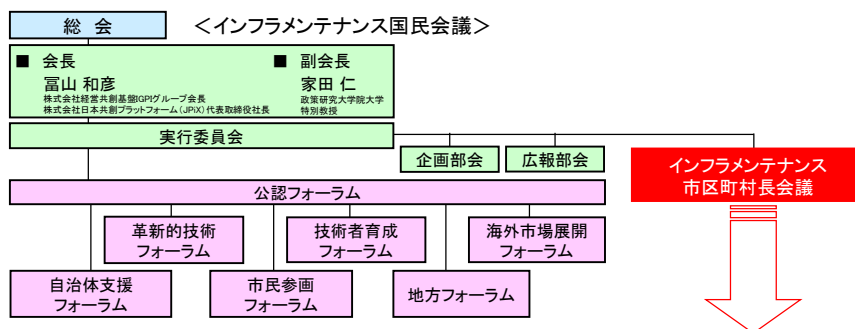
問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 企画部 TEL. 048-601-3151（代表） FAX. 048-600-1372
事業調整官 おおた としゆき 太田 敏之（内線 3116）、企画課 しまむら まさゆき 島村 正幸（内線 3158）

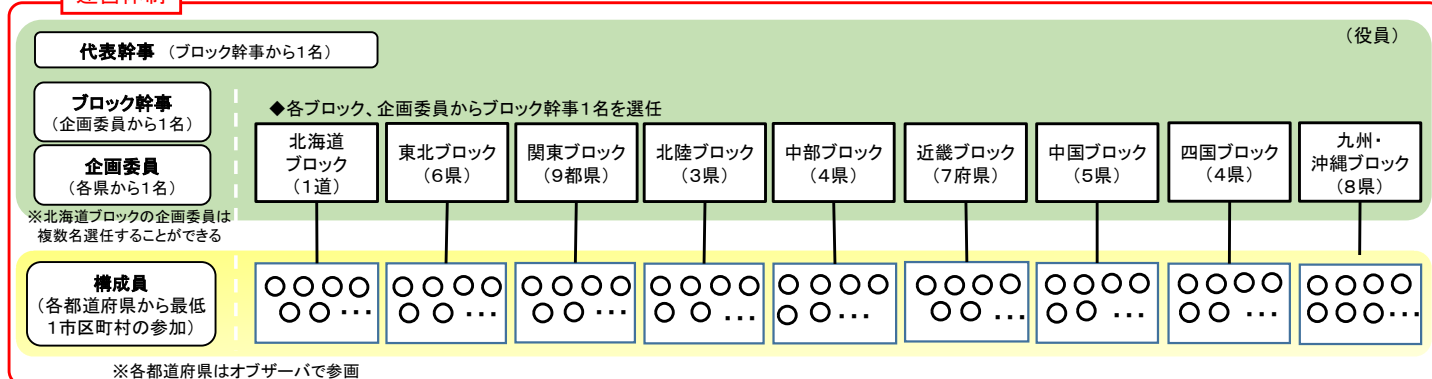


地方自治体において、予防保全への本格転換や新技術の活用など、効率的・効果的なインフラメンテナンスの実現を目的とし、メンテナンスに高い関心を有する市区町村長で構成する「インフラメンテナンス市区町村長会議」を立ち上げます。

- 首長同士の意見交換による、メンテナン
スに関する知見や意識の向上
- トップダウンによるインフラメンテ
ナンスの強力な推進
- 社会に対するインフラメンテナンス
の必要性の啓発



運営体制



※市区町村長会議は、国民会議の行政会員である市区町村の長によって構成

(令和4年4月28日時点)

インフラメンテナンス市区町村長会議

〈代表幹事〉
東京都稲城市長

[illegible]

インフラメンテナンス国民会議

「インフラメンテナンス市区町村長会議」設立式典

式 次 第 （案）

令和4年4月28日(木)
全電通労働会館

1. 開 会

2. 式 辞

3. 設立宣言

4. 来賓祝辞

5. 「インフラメンテナンス市区町村長会議」の概要

6. 各ブロックからの発表

7. 講話

「社会資本メンテナンス元年」から10年

～市区町村への期待～

インフラメンテナンス国民会議副会長 家田 仁 氏

(写真撮影)

8. 閉 会

インフラメンテナンス市区町村長会議 設立式典
出席者（予定）

国土交通省			
全国市長会長	相馬市長	立谷 秀清	
全国町村会長	嘉島町長	荒木 泰臣	

インフラメンテナンス国民会議			
会長	株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長 株式会社日本共創プラットフォーム（JPIX）代表取締役社長	富山 和彦	
副会長	政策研究大学院大学 特別教授	家田 仁	
インフラメンテナンス市区町村長会議			
北海道ブロック幹事	釧路市長	蝦名 大也	
東北ブロック幹事	宮古市長	山本 正徳	
代表幹事 関東ブロック幹事	稲城市長	高橋 勝浩	
北陸ブロック幹事	新潟市長	中原 八一	WEB参加
中部ブロック幹事	静岡市長	田辺 信宏	ビデオ出演
近畿ブロック幹事	養父市長	広瀬 栄	
中国ブロック幹事	総社市長	片岡 聡一	WEB参加
四国ブロック幹事	須崎市長	楠瀬 耕作	
九州・沖縄ブロック幹事	熊本市長	大西 一史	WEB参加

全電通ホール・会議室ご案内

交通機関

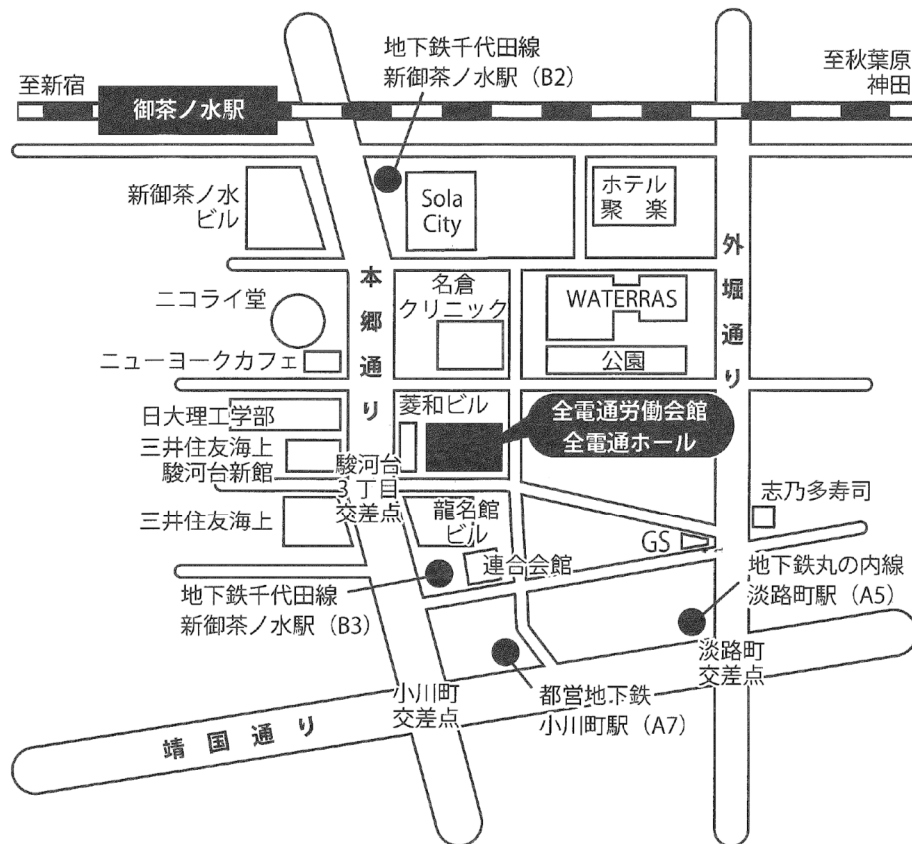
地下鉄・千代田線新御茶ノ水駅（連合会館前出口・B-3）

地下鉄・丸の内線淡路町駅（出口・A-5）

地下鉄・都営新宿線小川町駅（至る新宿駅より出口・A-7）

いずれも5分以内

J R・御茶ノ水駅（聖橋口出口）



(一財) 全電通労働会館

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-6

事務室電話 03 (3219) 2211

FAX 03 (3219) 2219

ホール呼出 03 (3219) 2213 (着信専用)

インフラメンテナンス国民会議事務局 あて (hqt-jcim-sogo@gxb.mlit.go.jp)
(国土交通省総合政策局公共事業企画調整課)

「インフラメンテナンス市区町村長会議」設立式典 取材申込書

取材を希望する方は、この様式により上記アドレス宛にメールでお申し込み下さい。
申し込み締め切りは、4月26日（火）12時までです。

□会社名及び部署名

□取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）

①（代表者）

②

③

④

□取材（傍聴）方法

（該当するものに○をつけて下さい） 会場 ・ オンライン視聴

※会場で取材される方は、当日は12時30分から13時15分までの間に受付してください。

※オンライン傍聴の方は申し込み後に URL をお知らせします。

□テレビカメラの持ち込みの有無（会場取材の場合）

（該当するものに○をつけて下さい） 有 ・ 無

□代表者の連絡先

電 話 番 号：

メールアドレス：

※会場の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます。

取材の可否は4月27日（水）中にメールでお知らせします。

留意事項

- 1) 現地担当者の指示に従ってください。
- 2) 当日のスケジュール変更の可能性もございますのでご注意ください。



Japanese Congress for Infrastructure Management

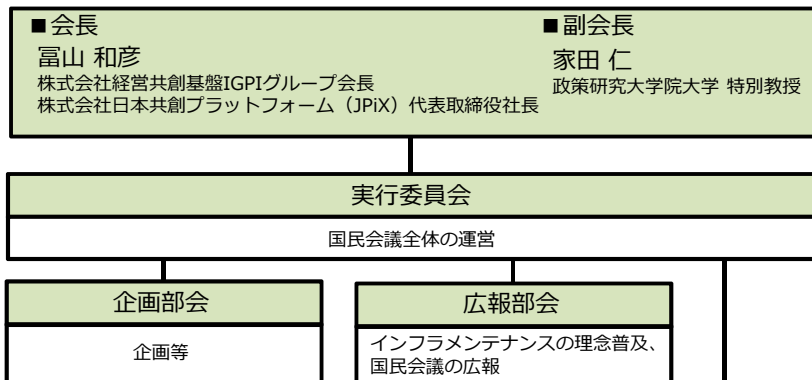
インフラメンテナンス国民会議

平成28年11月28日設立

「インフラメンテナンス国民会議」とは

○インフラメンテナンスに産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとして活動しています。

組織体制



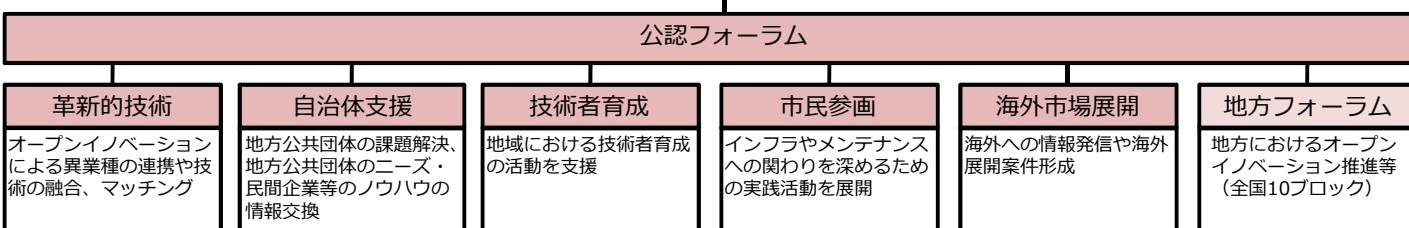
目的

- ①革新的技術の発掘と社会実装
- ②企業等の連携の促進
- ③地方自治体への支援
- ④インフラメンテナンスの理念の普及
- ⑤インフラメンテナンスへの市民参画の推進

会員数（令和4年3月31日時点）

2,508者

行政会員	1,151者	企業会員	917者
団体会員	166者	個人会員	274者



公認フォーラムの活動内容例

○産学官民の会員ネットワークを活かし、自治体や地域の取組の発展に向けて活動を行います。

新技術の活用



メンテナンスの課題を解決する技術等の紹介や技術マッチング



新技術導入の検討の現場試行の調整

地域一体で取り組むメンテナンス



各地の地域によるメンテナンス活動の紹介



地域一体の取組みへのサポート

民間のノウハウ活用



包括的民間委託等の民間活用の取組み事例の紹介



個別施設計画の策定・実施の課題解決につながるアイデア紹介

技術者体制づくり



技術者の確保や育成に関する各地での取組み紹介



地域における技術者派遣の仕組みづくりの支援